

# 議員団 ニュース

日本共産党平塚市議会議員団  
 団長 渡辺敏光  
 電話・fax 31-6431  
[w-toshi@agate.plala.or.jp](mailto:w-toshi@agate.plala.or.jp)  
 松本敏子  
 電話・fax 59-4607  
[mail@matsumoto-toshiko.jp](mailto:mail@matsumoto-toshiko.jp)

日本共産党平塚市議会議員団  
 電話 0463-23-1111 (内線 2375)  
 平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

日本共産党議員団の法律相談  
 今回は11月14日です。  
 午後1時 (要予約)

No.1049 2009年10月25日発行

## 太陽光発電の設置に関する トラブルに注意!



### ◎平塚市では、H21年度の 太陽光発電設置補助金は終了

国は「低炭素社会づくり行動計画」に基づき、太陽光発電の導入に取り組むとして一旦中止していた住宅用の補助制度を今年度再開しました。

こうした国の動きもあって、平塚市では、年度当初70件の補助を予

定していましたが、5月半ば(約1ヵ月半)で予定の数は終了となりました。9月に国・県の補正予算を受けて、新たに70件の受付を開始しましたが、これも10月半ばを待たず終了しました。

平塚市では	補助件数
H16年度	40
H17年度	66
H18年度	77
H19年度	57
H20年度	71
H21年度	140

### うまい話に騙されないで!

こうした中で、太陽光発電をめぐる悪徳商法が増え、全国で消費者センターへの苦情が増加しています。国民生活センターの調べでは、太陽光発電に関する相談の8割以上が「訪問販売」によるものだとして警鐘を鳴らしています。

上記のメールアドレスまたは電話にて、皆さんからのご意見・ご要望をお寄せください。

### 「新たな買い取り制度」が来月から

国が、住宅用太陽光発電への補助金制度を復活したことに加え、太陽光発電の電力をこれまでの約2倍の価格(現行1キロワットアワーあたり24円程度のものが48円)で電力会社が買い取る「新たな買い取り制度」が11月から始まることを受けて、消費者相談が増えているといえます。

- 売電収入について過剰な説明や、売電制度についても誇大な説明をしている。
  - 補助基準の対象外であるのに受けられると説明している。
  - 契約を急がされ冷静に検討できないまま契約に至る。
- といったものが多いようです。

たとえば、「売電により、光熱費やクレジットの手数料などの費用負担がゼロになる」という不正確な説明や、「すぐに契約しないと補助金が受けられなくなる」などと急がせる手口です。

### ちょっと調べてみる!

- ★業者のいいなりにならず、冷静に。
- ★市役所に問い合わせしてみる。
- ★インターネットで、実態を調べる。

景品でつったり、契約を急がせるというのは、悪徳業者の手口ということも忘れずに。



10月20日

## 定例行政報告会で提示された主な事項

### ○一般廃棄物処理手数料等の改正について

今年度の平塚市廃棄物対策審議会の答申、さらに財政健全化を加味し、市民・事業者に応分の負担を意識してもらい、減量化・資源化の取り組みを促すために手数料を改定するというもの。(H22年4月1日から施行予定)

種別	区分	現行	改訂案	
ごみ	特定料金	事業活動に伴い排出されるごみ等で市が収集し、運搬・処分するもの 1kgにつき 26円	1kgにつき 33円	
	臨時料金	臨時に一般家庭から排出されるごみ。家電リサイクル法にかかるものを除く	市が収集 1㎡につき2200円 1kgにつき12円	市が収集 1㎡につき2500円 1kgにつき20円
			自分で搬入 10kg60円	自分で搬入 10kg100円
			搬入料金	事業活動に伴い排出されるごみ等で市長の指示する処理施設に直接搬入 10kg 200円
動物の死体	畜産農業にかかると以外のもの	市が収集し、運搬・処分 1個につき 3000円	1個につき 6000円	
		個人が施設に直接搬入 1個につき 2000円	1個につき 5000円	

## ○（仮称）次期環境事業センター整備・運営事業の進捗状況について

9月16日に第一次審査を通過した4者に対し、本審査提案書類の提出をしめ切った。その結果、1者が辞退し3者から提出された。現在、内容を精査し、11月の事業者選定委員会で優先交渉権者を決定する予定というもの。

## ○平塚市西部福祉会館指定管理者の候補者選定について

募集期間はH21年7月31日から9月15日までとし、応募したのは次の3団体。

\* 西部福祉会館運営管理共同事業体 構成員（社会福祉法人 真幸会、社会福祉法人 進和学園、平塚市ビルメンテナンス業協同組合） \* 社会福祉法人 平塚市社会福祉協議会 \* ワーカーズコープ・東急コミュニティー共同事業体 構成員（企業組合労協センター事業団、株式会社 東急コミュニティー）

平塚市指定管理者選定委員会は、提出資料によるプロポーザルとヒアリングにより、候補者 ワーカーズコープ・東急コミュニティー共同事業体 を選定したとの結果を公表。

## ○各事業におけるパブリックコメントの実施について

◎平塚市産業振興計画（案）（10月15日から11月16日まで）

◎平塚市環境基本計画（改定版）第2期事業計画（素案）

（10月15日から11月16日まで）

◎平塚市子ども読書活動推進計画（第二次）素案

（11月1日から11月30日まで）

これらの内容をご覧になる方は、ホームページのほかに、市政情報コーナー（市役所本庁舎1階）、ひらつか市民活動センター、図書館、公民館、駅前市民窓口センターなどで閲覧できます。

## ○ひらつか協働経営プラン2008にかかわるH20年度の取組結果について

## ○平塚市災害時要援護者避難支援プラン（全体計画）について

## ○平塚市緑の基本計画（改訂）について



## 今年も「米づくり体験隊」が収穫の喜び！



年5回の行事に参加する中で、子供たちの成長の速さにも驚かされる、和気あいあいの行事です。

花や緑とふれあい、農業を学び、体験できる「花と緑のふれあいセンター 花菜ガーデン」の開園を3月に控え、地元金田では今月17日「米づくり体験隊」が稲刈りを体験しました。

地元農業者「ハッパ会」の方々の協力により、今年で5回目となったこの企画、今回は19世帯61名の参加者を迎えて行われてきました。

作業が終わったあとは、サツマイモ掘りも体験！さらに、焼きたてのサツマイモをごちそうになり、今年の「体験隊」は卒業しました。来年はもっと多くの「体験者」が卒業できることを願っています。



収穫した米は、乾燥機にかけられて翌日には、程よく乾燥した「できたての新米」30kgを各世帯でいただいで帰りました。

## 花アグリ周辺では、地元ボランティアが花壇の整備



こちらと同じく17日、「花菜ガーデン周辺の道路の脇に、花を植えよう」と「明日の金田を創る会」の方々約20人が、早朝から集まって、草刈り、花の剪定などに精を出していました。

年明けの1月からは、地元のイチゴ農家では、開園に先駆けて「イチゴの摘み取り体験」も計画しているとのこと。県のPFI事業は20年間という期間事業ですが、地元農業者にとっては一生の問題であり、農業の盛衰にかかわる事業なのです。地元の心意気が伝わってきます。 (M)